

**制限外積載**

設備外積載 許可申請書

荷台乗車

〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇 警察署長殿

住所 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申請者 氏名 〇〇 〇〇

電話 〇〇〇 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

申請者の免許の種類	大一	免許証番号又は 免許情報記録の番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
車両の種類	大型貨物自動車	番号標に表示されている番号	千葉〇〇〇▲〇〇〇〇	
車両の諸元	長さ	幅	高さ	最大積載重量
	〇. 〇〇m	〇. 〇〇m	〇. 〇〇m	〇〇, 〇〇〇kg
運搬品名	電柱、発電機等品名を記載する。			
制限を超える 大きさ又は重量	長さ	幅	高さ	重量
	〇m	〇m	/	/
制限を超える 積載の方法	前	後	左	右
	〇m	〇m	/	/
設備外積載の場所		荷台に乗せる人員		
運転の期間		〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇年〇〇月〇〇日まで		
運転経路	出発地	経由地	目的地	
	〇〇市〇〇町〇〇番地	〇〇市〇〇町〇〇番地	〇〇市〇〇町〇〇番地	
	通行する道路		別添経路図のとおり	

以下、警察署記載欄  
第 〇 号

**制限外許可証**

上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。

条 件	
-----	--

年 月 日

警察署長 印

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

**【注意事項】**

**消すことができるペンは使用できません。**

出力するプリンタの性能などにより、提出された書類の記載内容等が把握できない場合は、警察署に備付けの申請書に書き換えていただくことがあります。

申請書を印刷する際は、PDFのサイズや向きが変更されないように、プリンタの設定を確認して下さい（申請書はA4、縦方向となっています。）。

- 1 申請する許可の種別欄  
申請する許可を—————（二重線）で削っても構いません。
- 2 申請先  
出発地を管轄する警察署の交通課  
（幹部交番がある場合には、同交番でも申請可能）
- 3 申請方法  
制限外積載許可申請書及び添付資料を2通ずつ申請先に提出してください。  
（1通は、許可証として交付します。）
- 4 申請書の記載方法等
  - (1) 申請者欄  
申請者欄は、車両の運転者を記載してください。
  - (2) 車両の種類欄  
トレーラの場合は、セミトレーラ、フルトレーラ、ポールトレーラ等と記載してください。
  - (3) 番号票に表示されている番号欄  
トレーラの場合は、トラクタ及びトレーラの登録番号を記載してください。
  - (4) 車両の諸元欄  
自動車検査証記載の大きさを記載してください。  
なお、トレーラの場合は連結した状態で記載してください。
  - (5) 運搬品名欄  
運搬する品名を記載してください。
  - (6) 制限を超える大きさ又は重量欄
    - 長さ欄：「積載物の長さ－車長（トレーラの場合は連結した状態）×1.1」の値  
※ 車長の前後1.1倍を超えない場合は、申請の必要はありません。
    - 幅欄：「積載物の幅－車幅」の値  
※ 車幅からはみ出す場合は、申請が必要です。
    - 高さ欄：「積載した状態の地上からの高さ－3.8m」の値  
※ 高さ指定道路のみを走行する場合は、「積載した状態の高さ－4.1m」の値
  - (7) 制限を超える積載の方法欄  
上記（6）の値のうち、前後左右及び高さ、それぞれにはみ出す大きさを記載してください。
  - (8) 運転の期間欄  
制限外積載許可を必要とする期間を記載してください。ただし、同じ形状、大きさの物品を同じ積載方法で、同じ車両により同一経路で運搬する場合には、最長1年間の期間を申請することができます。申請期間を必要とすることが分かる資料を求める場合があります。
  - (9) 運転経路欄  
出発地、経由地、目的地を記載してください。  
通行する道路欄は「別添経路図のとおり」と記載し、添付した運行経路図により明確にしてください。
  - (10) 添付資料
    - 運転免許証の写し又は運転者が分かる資料
    - 自動車検査証の写し又は自動車検査証の内容が分かる資料
    - 運行経路図
    - 特に長大と認められる場合には、右左折時の軌跡等が判明する資料
    - 積載状況の分かる資料（積載状況の寸法が記載されているもの）その他、審査に必要な資料の提出を求める場合があります。
  - (11) その他  
目的地が県外に及ぶ場合や交付日数のほか、不明な点については事前に出発地を管轄する警察署へ相談してください。